

キルトジャパン

針休めの針仕事 2015年7月号 夏 162号

ヘビ君のメジャー

小山 典子

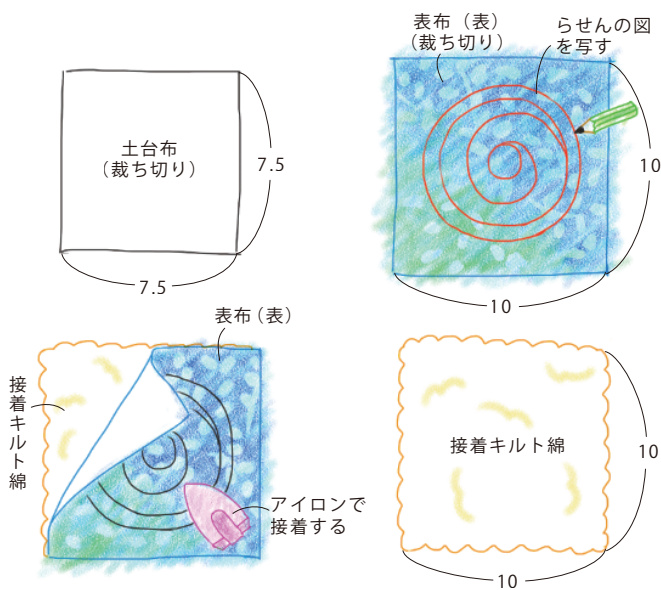
●用意するもの (基本1点分) ●

- 本体…プリント10×30cm (頭・尾を含む)
- 口の中…プリント5×10cm
- 舌…フェルト赤3×2cm
- 土台布…7.5×15cm
- 接着キルト綿…10×20cm
- 直径0.8cmボタン…2個
- 直径5cm円形メジャー…1個
- 詰め綿…適宜

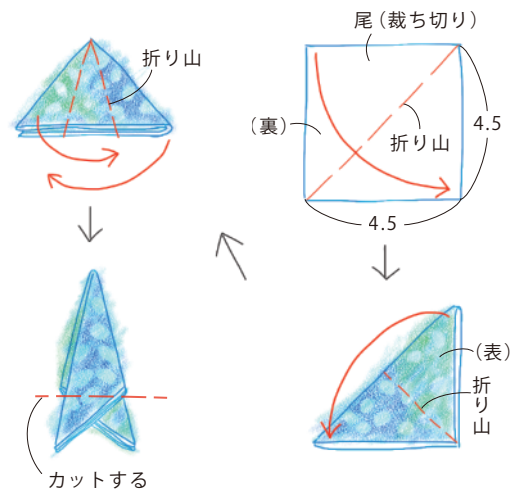
撮影/渡辺淑克
スタイリスト/植松久美子
イラスト/小池百合穂



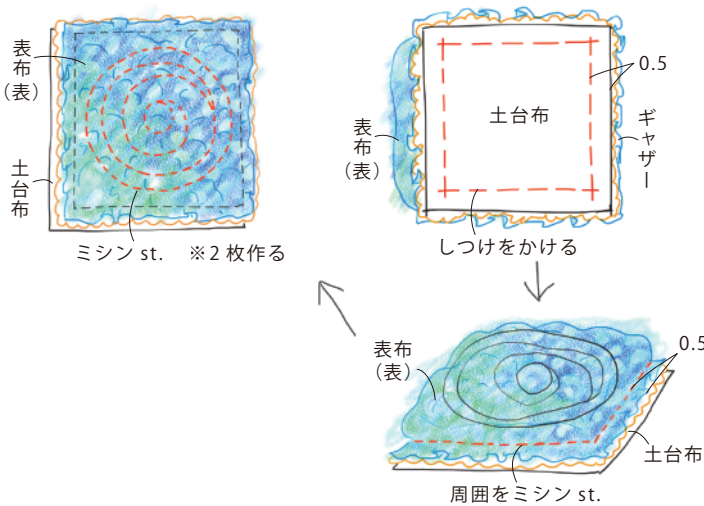
*単位は cm



1 表布と土台布を裁ち切りで用意し、表布の表側にらせんの図案を写し、裏に接着キルト綿を接着します。

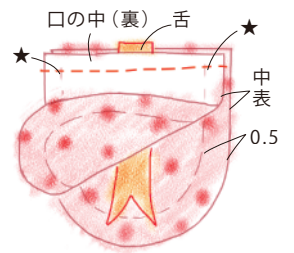


3 裁ち切りで4.5×4.5cmの正方形を図のように折って尾を作ります。

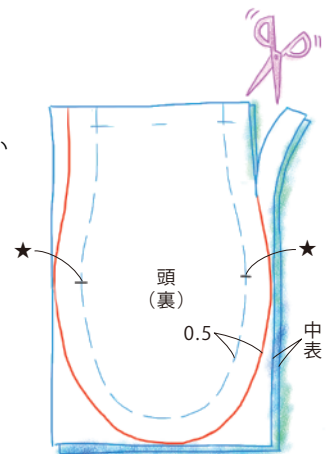


2 表布の周囲をぐし縫いしてギャザーを寄せ、土台布の寸法に合わせます。外表に合わせてしつけで仮止めし、周囲にミシンをかけます。膨らんでいる表布をつぶしながら形を整えてらせん状にミシンをかけます。

4 縫い代をつけてカットした口の中2枚を中表に合わせて、間にフェルトを裁ち切りでカットした舌をはさんで縫い合わせます。



5 頭用の布2枚を中表に合わせて頭を写し、縫い代をつけてカットします。



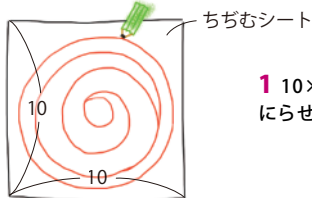
キルトジャパン

2015年7月号 夏 162号

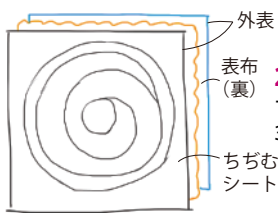
へび君のメジャー

小山 典子

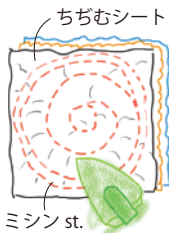
ちぢむシートを使うと 本体がもっと簡単に作れます!



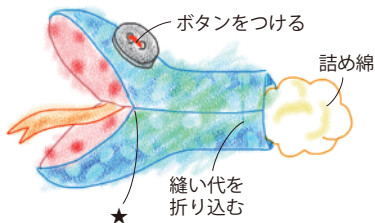
1 10×10cm (裁ち切り) のちぢむシートにらせんの図案を写します。



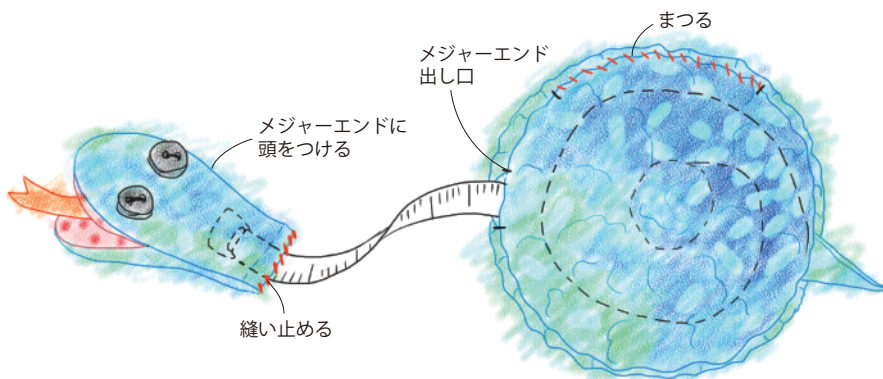
2 同寸の表布とキルト綿を用意し、表布とちぢむシートの間にキルト綿をはさんで3層に重ねます。



3 写したららせんに沿ってミシンをかけます。ちぢむシート側に上に置き、直接アイロンをかけて縮ませます。これを2枚作って2までのでき上がり。



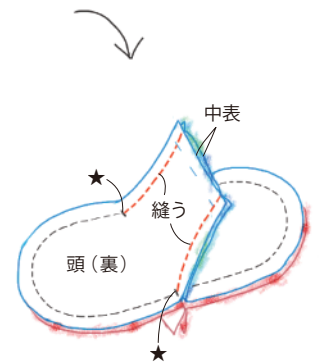
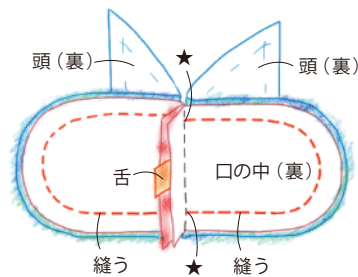
7 頭を表に戻して詰め綿を詰め、首の縫い代を内側に折り込みます。ボタンを目の位置に縫い止めます。



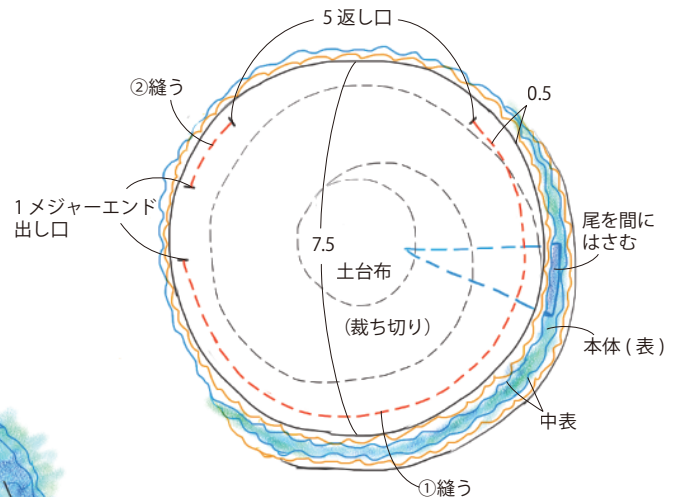
9 本体を表に戻し、返し口からメジャーを入れ、メジャー出し口からメジャーエンドを引き出します。返し口をまつり、メジャーエンドに頭を縫い止めます。



*単位は cm



6 口の中を開いて上顎、下顎をそれぞれ頭の★印と合わせて縫います。頭の残りの部分を合わせて縫います。



8 縫い縮めた本体を裁ち切りで直径7.5cmの円にカットし、中表に合わせた間に尾をはさんで返し口とメジャーエンド出し口を残して周囲を縫います。

キルトジャパン

2015年7月号 夏 162号

ヘビ君のメジャー

小山 典子

